



## 生活・環境

### 大村市火葬場条例の

変更はしないのか

大崎 敏明議員

Q 9月議会において斎場の指定管理者の指定に関する議案が否決されたが、来年4月以降の管理運営について、どのような検討を行っているのか。業務委託をする場合は公募し、9月議会で否決された事業者も参加させるべきである。また、施設ごとに定められている現在の指定管理者に関する条例を見直し、手続き条例として一本化することが必要である。

A 平成25年度については市の直営となるが、業務委託を検討している。委託業者を公募する場合は、火葬業務の経験を有する市内事業者は限られているので、広く公募したい。条例については、現在、指定管理者制度の総括とあわせて、今後の制度運用のあり方等について検討を進めており、この中で検討したいと考えている。



## 教育・文化・スポーツ

### 通学路の整備の

システム化について

田中 守議員

Q 浜松市では通学路の危険箇所等の整備について、PTA、町内会、教育委員会、交通政策課、道路課、警察などの連携をシステム化してPDCAサイクルを構築し、効果を上げている。本市ではどのような取り組みがなされているか。また、浜松市のようにシステム化し、PDCAサイクルを構築できないか。

A 本市においてもPTAや関係各課と連携するなどして対応しており、概ねシステム化はできていると考えている。浜松市の事例を参考に、対応後の状況や未着手となっている部分の確認など、今後さらに確実性を増し、関係機関との連携の一層の強化を図っていききたい。

### 地域力再生と児童の体力向上にラジオ体操を

北村 貴寿議員

Q 地域コミュニティ崩壊による地域力低下が叫ばれて久

しく、子ども会加入率も低下の一途。児童生徒の体力も低下傾向にある。老若男女が参加しやすいラジオ体操会を地域で行えば地域力再生や体力向上、健康増進も期待できる。既に熱心に取り組み自治体もあり、本市もラジオ体操の普及啓発を学校での指導もあわせて行つべきだ。

A ラジオ体操は準備運動として効果があるということを知りたい。また、非常にいい話であるので学校だけでなく市全体で考えていきたい。

### 小中学生の夜間帰宅時の安全対策の徹底を

山口 弘宣議員

Q クラブ活動後の学校からの帰宅は夜間になることがあり、交通事故の危険性が増している。反射材付きの上着の着用等、安全対策が不可欠であると考えらる。小中学生の学校からの夜間帰宅時の安全対策についてどのような見解であるか尋ねる。

A 部活動については、終了時刻を示し、指導を行つているが、暗くなつてからの帰宅になる場合もある。中学校では反射材付きのバッグ等の使用を定めているが、小さくて認知しづらいこと

から、白っぽい上着の着用等について協議している。学校に対しては家庭と連携しながら適切な対応と交通安全指導の一層の充実を呼びかける。

### がんばらんば国体、がんばらんば大会について

三浦 正司議員

Q 6月議会で、がんばらんば国体、がんばらんば大会の準備状況について質問したが、課題としては競技会の円滑な運営と交通渋滞対策の2点であり、早めに対応し、来訪者、宿泊者対策は可能な限り市内で宿泊できるようにするとあった。前記を踏まえ、現在抱える問題点、宿泊能力、ボランティア等各競技を支援する計画はどうか。

A 競技会の円滑な運営については、競技役員編成と競技補助員の確保を進めている。交通渋滞対策については、競技会場の一部変更を進めており、これにより交通渋滞を緩和できると考えている。現時点での主な課題は更なる円滑な運営体制の確立と、選手、監督、役員等の宿泊施設の確保である。ボランティアの募集は開始した。